

甲子(かし)中学校の皆さんのハーブ訪問

桜が葉桜になった4月の12日(木)に、岩手県釜石市の甲子(かし)中学校3年生の生徒さん6人が、東京への修学旅行の際に、人権・平等をテーマにハーブを訪問に来てくれました。そのときの模様を、T本がレポートします。



↑「人権」ということばについて説明する事務局長。

最初に、西神田の事務所の様子を見てもらいました。皆さん(私たちも含めて)緊張しているようでした。

その後、神保町公民館で、懇談会を行いました。

はじめに、事務局長の大川さんが、人権という言葉の由来(Human Rights)について、浦部理事長の言葉を引いてお話ししました。

次に、現在難民として日本で暮らしているRさんのお話をお聞きしました。

その次は、大学で教鞭を執っているT・Oさんの話です。生徒さんの「人権問題にはどういふものがありますか」という質問に対して、「人権とは・・・」ということを考えるのはとても難しいけれど、まず知ろうとすることが大事で、無関心であること(特に日本人にめだつ)が問題であると話しました。

具体的には、国内では障害を持った方への差別や、在日外国人への差別があることなどを伝えました。

その後の話し合いの時間には、自分たちの身近にある、いじめの問題(外国でもいじめがあるのか?)や幼児虐待(なぜそのようなことをしてしまうのか?)の問題などについて、意見を出し合いました。

後半には串崎理事が出席し、T・Oさんの話した「まず、知ろうとすること」をさらに発展させて、知った後で想像すること、自分たちには何ができるかを具体的に考えることが大切だというお話をしました。

そして、ハーブが行った活動のパネルを、大川さんの説明のもとで、見てもらいました。

最後に記念撮影をして、懇談会は無事に終了しました。

とても有意義な時間を持つことができたと思います。自分たちが彼ら位の年齢の時は、果たして人権のことをどう考えていたか、思い起こしました。差別とか平等とかを教科書で習ったのは覚えています、実際に修学旅行などで調査、研究するという事はなかったもので、とても感心しました。

秋には文化祭でこれらを発表するという事ですので、その際にはぜひこちらから訪問したいと思います。(T本)



賛助会員へのお知らせ

私たちは戦後日本の平和が多く犠牲の上に成り立っていることを忘れてはなりません。「しない平和主義」は本土の平和と安全に寄与したかもしれないが、同時に沖縄やアジアの人たちが戦争の傷と痛みを抱えながら生きている現実にマスクをかけてしまった。足元に埋まっている戦争の記憶を掘り起こし、何故人々はこの憲法を熱い気持ちで受け入れたのかを考えることで、非暴力の「する平和主義」へと踏み出そう。

(笠地蔵)

議」の重要性に着目し、九条の制定過程を丹念に追いながら、国際平和主義の精神について解説している。「押し付け憲法」という批判がいかに空疎なものかが分かる。第二部は、九条をもたない帝国日本が戦地で何をしてきたかを旧日本兵の加害証言を交えながら伝えている。第三部は札幌郷土を掘る会の平和と人権の掘り起こし運動の紹介である。証言する側も聴く方も大きな痛みをともなう戦争の記憶の聞き書き作業を、地道にそして極めて謙虚に行い、それを後世に伝えようと真摯に活動していることが分かる。

news: 2006年賛助会員のみなさまへ

本年度もよろしくお願いします!

2006年度は、わたしたちハーブの活動へのご賛同、ご支援をありがとうございました。

みなさまのご協力により、HuRPも2周年を迎えることができました。

本年度も、日本国憲法の理念を実現するために、また社会そして世界に広げてゆくに活動してゆきたいと思っております。

ぜひ2007年度も賛助会員として、HuRPを支えて頂ければ幸いです。引き続き賛助会員になって頂いた方には、2007年度の会員証と、引き続きHuRP通信をお送りします。

お友だちを紹介してください。

もしみなさまの周りに、人権や平和の問題について考えていきたいという方、HuRPの活動に興味のある方、またみなさまがHuRPの活動について知らせたい!という方などがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。最新号とパンフレットをお送りします。

HuRPに参加するいくつかの方法。

HuRPサポーター

入会金なし/年会費1000円
たくさんお金は出せないけれど、HuRPを少し応援したいな、という方。ご希望の方には、イベントや企画のお知らせを、メールでお送りします。NPOの企画や運営を経験したい学生さんなども大歓迎。

賛助会員(個人)

入会金3000円/年会費3000円
HuRPの考えに賛同します!という方で、HuRPの活動を支援したい、または少しずつ人権や平和について勉強していきたいから、自分のペースで参加したい!という方におすすめです。会員証の発行、また、HuRP通信を毎月お送りします。

賛助会員(法人)

入会金5000円/年会費30000円
法人として、HuRPの考え方に賛同して、社会に還元できる活動を支援したい社長さん! HuRPはNPO法人です(2005年1月認可)。

HuRP通信もついに12号です! この1年、「白鳥事件」プロジェクト、petitおとなの社会科見学、HPのリニューアルなどの活動を少しずつお伝えしてきましたが、来月からは、1年目にできなかったこと、至らなかつたことをふまえ、2年目にふさわしくリニューアルします。今まで以上に、HuRPのフォーラムとして「会員のみなさまとともに作り上げる紙面」を目指して努力したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします! なお、引き続きご意見ご要望などを募集しています。イベントや上映会の開催情報、参加した感想など、会員で共有したいと思っておりますので、ぜひ、以下の事務所までお寄せください。(彩)

■こんな感想をいただきました！



その後、甲子中学校から、HuRP訪問の感想が届きました。いくつか抜粋し、ご紹介したいと思います。

「先日はお忙しいなか私たちに分かりやすくたくさんを教えてくださいありがとうございました。」

おかげさまで今まで知らなかったことまで知ることができました。特に韓国人の人といっしょに料理を作ったり、うたを聞いたりという活動がすごくいいなあと思いました。みなさんのおかげで楽しく学ぶことができました。本当にありがとうございました。」

「先日は、私達の修学旅行の自主研で、た



カラダに平和を12
—自炊のスズメ—

お豆腐に缶詰

納豆の次はお豆腐です。豆腐には木綿豆腐と絹ごし豆腐がありますが、木綿豆腐は、絹ごし豆腐より栄養価が高いそうです（同じ重さの場合）。そのかわりに、日持ちがしません。絹ごし豆腐はその逆です。

私は買い置きをよくするので、日持ちする絹ごし豆腐を買っています（2006年10月号第5回「八百屋へ行こう」をご覧ください）。そして、「おかずをつくるのが面倒だなあ」というときや、豆腐をたくさん食べたいときにこれを作ります。

作り方（と呼べるものでもありませんが）は、タイトルの通り……

豆腐に缶詰をのせる。そして刻んだネギをのせる。これだけです。

たくさんを教えてください、本当にありがとうございました。

私達の質問に、ていねいに答えていただき、普段考えられない人権を学ぶためには、「知ろうとすること」が大切だということをお教えいただきました。学んだことをさらに追求していきます。本当にありがとうございました。」

「特に印象に残ったのは「知ること」でした。それは本当にそうだと思います。だって何も知っていなかったら、何もすることはできないからです。

ハーブのみなさんから教わったことや、もらった資料をもとに、人権についてもっと考えて、僕達が今、出来ることをしていきたいです。」

「いじめなどの様々な人権問題の改善策やどうしてこのような問題がおこってしまうのかわかってすごく充実した話し合いができて楽しかったです。でも、まだ知らない事がたくさんあるので、まずは知ることが大事だと思います。そして、そのわかったことをたくさんの人に伝え、それをにつけていくことだと思います。本当にありがとうございました。」

「討論会は、とてもおもしろく印象に残るものとなりました。

私が願っていた中で、いじめ問題をなくす活動はまだ実行できていません。

もっとたくさん知り自分でも広められるようにがんばりたいと思います。」

ねぎをたっぷり。



本当に手抜きなのですが、缶詰は濃く味付けがしてあるので、豆腐にぴったりです。

おまけに、コーンなどの食材のような缶詰以外はほとんどOKなので、バリエーションが豊富です。

ちなみに私が好きなのはさんまのかば焼きの缶詰です。あの濃いタレが淡泊な豆腐にちょうどよくからんでとてもおいしいです。

スーパーで缶詰を100円均一でワゴン売りしているのを見かけたりしたら、いろいろ買って試してみてください。あと、疲れて食事を作るのが面倒なときにもどうぞ。そして「これはおすすめ」というものがありましたら、ぜひご意見をお寄せ下さい。(T.B)

●日本国憲法公布60周年企画●

「ブックマークの似合う本」
HuRP's selection vol.8



『地域で憲法九条を学ぶ』

小松 豊、清水 功

草の根出版会
2006年5月発行
定価 2310円（税込）

田中伸尚さんは、『憲法九条の戦後史』（岩波新書）のエピローグで、「しない平和主義」と同時に「する平和主義」が重要だという君島東彦さん（憲法学・平和学）の主張を紹介している。「しない平和主義」とは、戦争に加担「しない」、自衛隊の海外派兵を「しない」という平和構築の消極的な営み。君島さんは、私たちは憲法九条を前文と有機的に結びつけて「する平和主義」、すなわち非暴力によって平和を積極的に創る営みへと向かうべきだと主張する。

「しない平和主義」で遠慮がちな護憲派を尻目に、政府は専守防衛の自衛隊を「人道復興支援」のためにイラクに派兵し、武力による「する平和主義」へと踏み込んだ。私たちはこのマッチョな「する平和主義」に対抗しうる非暴力の「する平和主義」の具体的な仕組みを考えなくてはならない。憲法前文が「政府の行為によって再び惨禍が起こることのないやう」、そして「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去」することを私たち日本の「ピープル」に要請しているのだから。

ここに紹介する本の著者である小松豊さんと清水功さんは、札幌を拠点にまさに足元からの「する平和主義」を実践している。彼らは長年にわたり、「札幌郷土を掘る会」の会員として地域での戦争体験の聞き書きやタコ部屋労働の実態調査など民衆史の掘り起こし活動を続けてきた。小松さんたちは2004年、その活動を「平和憲法のほんとうの精神を広める運動」へと結びつけようと、『鳩を飛ばす！』という手作りの冊子を作成した。本書はこの冊子がきっかけに生まれたものだ。

この本は三部構成。第一部では、「九条国会審」>>裏面に続く

人権・平和をめぐる主な動向
2007.4.12~5.8

人権 Human Rights

袴田さんの再審請求最高裁へ要請■5月8日、袴田さんの再審請求を求め、ボクシング元世界王者・輪島功一さんが最高裁に要請。

国際刑事裁判所 開憲法が成立■4月27日「国際刑事裁判所」開憲法が成立した。政府は10月の加入を目指し、手続を進める。

拷問の実態暴露と犯罪？（エジプト）■5月2日、エジプトの裁判所は、同国警察の拷問の実態をまとめた録音を制作したテレビのプロデューサーに「国益を損ねた」として実刑判決。人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチは、国際的な裁判の基準に達しておらず、メディアを脅迫していると批判。「『世界報道自由の日』を翌日に控えた判決は、エジプトが表現の自由に対して弾圧を強めていることを象徴するものだ」と指摘した。アムネスティ・インターナショナルも判決を非難。人権違反を決定を持って取柄しようとする者を怒らせようとする恐ろしいメッセージだと指摘した。

欧州議会、世界の人権状況の報告書■4月26日、欧州議会の欧州議会は世界の人権状況に関する報告書を採択した。ロシアや中国、イランで人権擁護が不十分だと批判。

全国学力テストに異議■小6・中3を対象に実施される全国学力テストに対して異議が出ている。自治体・学校・児童の競争・序列化を強化させ、プライバシーを侵害するという指摘も。

無罪の男性の再審請求を決定（富山）■4月12日、富山地裁富山支部で実刑判決を受け服役後の男性の再審が決定された。別件逮捕の男性が、自行自決したため。

平和 Peace

「戦争と平和の資料館ピースあいち」オープン■5月4日名古屋市に「戦争と平和の資料館ピースあいち」が開館した。

日本国憲法の原本を見に行こう！■国立公文書館が「再建日本の出発」として日本国憲法の原本を展示。5月6日～22日まで、入場無料。

集団的自衛権の解釈が変更へ？■4月25日、政府に集団的自衛権について研究する有識者会議が設置された。集団的自衛権についての政府解釈が変更されようとしている。

戦後補償訴訟、中国人が逆転敗訴■第2次大戦中に強制連行されたとして中国人が建設会社に損害賠償を求めていたが、4月27日、最高裁は高裁判決を破棄、原告側の逆転敗訴となった。

長崎市長銃撃■4月17日、伊藤一長・長崎市長が銃撃され、死亡。暴力行為によって民主政治を脅かすこととは、いかなる場合も許されぬ。

1年間に民間人229人も犠牲に（アフガン）■昨年1年間のアフガニスタンでの戦闘で、民間人も229人が犠牲になった。4月16日に国際人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチが発表。

国連が貧困撲滅へと絵巻コンテスト■「貧困はなくせる『We Can End Poverty』」をテーマに、国連が子ども絵巻コンテストを開催。最優秀作品を、2007年10月17日の「貧困撲滅のための国際デー」記念式典で発表し、国連事務総長の切手として発行する。期間は5月30日まで。